

に当たってはまず、11月から始まる気象技術講習会(メソ気象)の講師の方々による講義内容を連載することを考えています。その他にも、新しい企画を検討中で

す。会員の皆様も、新しい企画に対するご要望を是非編集委員会までお寄せ下さい。

「天気教室」欄新設のお知らせ

近年、民間気象業務の自由化や気象予報士の誕生に伴い、幅広い分野から従来にも増して最新の気象学や気象技術の知識を求める声が高まっています。日本気象学会では、本年11月から、気象業務支援センターとの共催で「気象技術講習会」を開催する(「天気」1998年8号参照)など、社会に対する「気象情報や気象知識の理解と利用の普及」に貢献する努力を行ってきていますが、この度、「天気」編集委員会でも、幅広い分野の会員の皆様に有用な気象学や気象技術の知識をわかりやすく解説する「天気教室」欄を新設することに致しました。「天気教室」欄に掲載する記事は、原則として編集委員会からの依頼原稿によりますが、研究・気象業務の現場で日々「天気」と向かい合ってい

らっしゃる方々からのご投稿も歓迎します。原稿をお書きいただける方は、どうぞ編集委員会までご一報下さい。また、こういうテーマに関する解説がほしいというご希望も編集委員会まで是非お寄せ下さい。

本欄を始めるに当たり、気象業務支援センターのご理解を得て、上述の「気象技術講習会」の専門課程第1回メソ気象コースの講師の方々のうち承諾が得られた方をお願いして、その講義内容をご執筆いただくことにしました。今後も一般的な解説に加えて、第2回以降の「気象技術講習会」の講義内容も掲載できればと考えております。本欄が健やかに成長しますよう、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

電子メールアドレスの掲載について

過日ある会員より、「天気」の論文等の著者の電子メールアドレスを掲載してもらえないかとのお手紙を編集委員会にいただきました。編集委員会で検討した結果、論文に限らず、「天気」のあらゆる記事でメールアドレスの掲載を希望する方は、掲載することにいたしました。但し、掲載は責任著者1名に限ります。こ

れに伴い、1999年1月号に添付する「天気」送り状にはメールアドレスと掲載希望の有無の記入欄を設けることにいたします。これ以前に投稿される方で、メールアドレスの掲載を希望される方は、投稿時に文書(メールアドレスを記入したもの)でお申し出下さい。

「最近の研究から」欄の投稿規定の変更について

「最近の研究から」の投稿規定は現在「他の学術雑誌に会員が発表した最新の研究成果を簡単に紹介する」(「天気」45巻1号)となっていますが、より広い範疇に属する最新の研究成果を紹介していただくため、「日本気象学会以外の学術雑誌や学術会議に会員が発表し

た最新の研究成果や内外の気象学の研究に関する最新の話題を簡単に紹介する」と改めることにいたします。但し、投稿原稿の最終的な採否は編集委員会の判断によるものとします。